



# 祝 委嘱作品 「みどりの風に」 完成

## 団委嘱曲第1号が完成!

前回練習 2/18 で貞松先生からうれしいご報告がありました。

「委嘱曲の目途がついた。早ければ2月中に楽譜を届ける、と源田君から連絡があった。」

振り返ると委嘱曲は、団結成 10 年・定演第 10 回記念事業(2005 年)の一環として企画されました。しかも団員参加型ですすめようということで、歌詞は団員からの公募方式をとり、団員(家族含め)から 7 作品の応募がありました。その中から団員による投票で選考候補として 3 作品にしぼり、最終的に選考委員会(メンバー:貞松先生、井関先生、和田先生、岡代表)で「みどりの風に」が選ばれました。

選考過程では、選考候補 3 作品に、より磨きをかけようということで、貞松先生からご紹介いただいた梶原治郎先生(PL 学園)からご助言をいただきました。団結成 10 周年記念会(2005 年 3 月 19 日すばるホール)には、源田先生をお招きし、当時のレパートリーであった「いつの日か」のレッスン(公開)を受けることができました。団 HP の過去のシャンテや伝言板では(2004.2~2005.4)、その頃の団活動の様子が伺えます。間もなく届けられる委嘱曲、みなさんとともに楽しみに待ちたいと思います。(委嘱作品委員:T岡田、S奥野(時))

《岡田さん、委嘱作品選考委員さん、先生方と当団の皆さん、本当におめでとうございます。ありがとうございます。 シャンテ子》

## 連絡事項

岡団長から:練習開始変更について。演奏会前半年をきりました。練習時間確保のために本日から6時30分声だし、7時練習開始にさせていただきます。忙しい方もおられるのですができるだけ歌う時間を確保したいのでご了解ください。

貞松先生から:演奏曲について。源田俊一郎先生が我々のために委嘱曲を作曲してくださいました。次回演奏会に「海よ」とともに演奏できます。演奏会当日源田先生をご招待します。(源田先生感謝、感謝です)

については源田作品「ふるさとの四季」を加えて1ステージを組みたいので「日本抒情曲集」は次回に回します。他のステージは「アニソン・・・」、「蔵王讃歌」を加えての「魂・・・4曲」の構成で行きます。エンディングは「クライムエヴリマウンティン(前回演奏バージョン)・夜の歌・歌声を世界に」となります。(以上、出席団員の満場拍手)。各自楽譜の用意をお願いします。「蔵王讃歌・夜の歌・歌声を世界に」は青の愛唱曲集Iに収録されています。

「ふるさとの四季」はS米澤さんがとりまとめて注文、取り寄せをしてくださいます。

新規入団:2月18日にS浜地早苗さん、見学の上入団されました。ようこそ!

## 練習状況 2月4日(土)

和田先生のVTで声だしをしました。練習曲はまずパート練習で「からたちの花」・「城ヶ島の雨」・「ルパン三世のテーマ」。それぞれのパートで音取り、リズムとテンポなどの確認をしました。集合してからしばらく「魂・・・」の一部について貞松先生から、歌い方の変更の話がありました。「第3曲《くり返す》」の中で何度も出てくる『くりかえす』ことが・・・の休符部分は、『す』で音を引いてしまい、『ことが』と歌い直すことは、言葉のつながり上で不自然です。休符部分は休みではなく、音の無い状態ととらえてください。「つまり『す』は無声音的ではなく『SU』をどおり出し、そのまま呼吸をホールドして、ノンブレスで『ことが』に持って行くという意味だ」と思います。「からたち・・・」はSのソロ付き。まずはNさんが美しいお声を聞かせてくださいました。

2月18日(土)  
VTは和田先生。腹筋を意識する呼吸法。BR Rで声帯ならし。PP発声。「Pi. de. da. po. ge」では喉の奥をさげ、鼻腔を響かせます。身体と喉の準備ができたら「トサカ(テノリ)は薄くなった」に響く音階のアップダウンをします。練習始めに貞松先生からビッグニュースがありました。(別記)練習曲は「アニソン」・「魂・・・」の音確認とアンサンブル。「ルパン・・・」では、「まっかなー」等、スタカート之歌い方に注意がありました。「・・・」の付いている音符は鋭くカットして気をつけて、その次を強調するように。ソプラノ・ベースがその特訓をしました。「魂・・・」の一番では前回同様「休符に注意。ブレスをたっぷりとれる文字どおりの休みと、ブレスをとらず息をぐつとためて、音の無い瞬間を作るための休符の違いがあります。」

先生からの朗報など嬉しい知らせに今回は雰囲気盛り上がり、曲の完成度がぐつとあがったように感じました。

# 祝 「みどりの風に」委嘱曲完成

私たち とんだばやし混声合唱団一同の念願がついに叶い、プロ作曲家の手による委嘱曲・第一号が完成してまいりました。

作曲をいただきました源田俊一郎先生に、心から感謝をいたしましょう！  
そして、これまで推進いただきました岡田重信・奥野時子委嘱作品両委員と貞松道人先生に心からお礼を申し上げます！

今回の完成楽譜に添えられていた源田俊一郎先生からのメッセージを下記掲載いたします。

団 長

♪♪♪

貞松道人先生 そして  
とんだばやし混声合唱団の皆さま

2005年に皆様にお会いし、合唱曲の委嘱を受けてから7年もの歳月が流れました。  
今まで皆様には本当にご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。

貞松先生や合唱団の方たちからいただいた励ましのお手紙は、いつもあたたかく心に染みしました。

昨年の中東大震災を目の当たりにして、日本中の人々の心に何か今までと違うものが芽生えてきたと感じています。

私も「海よ」の作曲を通して、今までの自分を脱ぎ捨て、新しい自分をつかみかけた気がしました。「みどりの風に」の作曲は、そのつかみかけたものの手ごたえをさらに確かなものへとしてくれました。

どうやら長いトンネルを抜けて、爽やかな風に出会ったような気持ちです。

この曲は当初無伴奏合唱曲として構想していました。2006年頃書いて忘れていたスケッチを探し出して見てみると、なんと冒頭のメロディーがほとんど同じでした。

岡田重信様の「平和・夢・未来」に対する思いを私なりに膨らませ、言葉を超えて人間が歌い上げる音楽へと構築していきました。

私が書いた楽譜は、ただの文字と記号にすぎません。どうぞ皆様の歌声で音楽という命を与えてください。そして「窓をあけてごらん」というさりげない言葉に込められたメッセージを深く心に刻み、聴く者へと発信していただければ幸いです。

大阪・南河内に広がる緑、そこを吹き渡る風の中で皆様が歌う姿を夢みております。

2012/02/25

源田 俊一郎